

## 文書の認証手続きについて

ハワイ州では以下の指示通りに認証された文書以外は登記できませんのでくれぐれもご注意ください。

### 1. 公証人を見つけるには：

**アメリカ合衆国の場合：** 電話帳 (Yellow Pages) の「公証人 (Notary Public)」という見出しから探してください。ほとんどの銀行、貯蓄貸付組合、法律事務所には公証人が常駐しています。注) 州によっては法令により弁護士に文書を認証する権限が与えられている場合もあります。

### アメリカ合衆国以外の国の場合：

A. ハーグ条約締結国： ハーグ条約締結国を調べるには、インターネットの次のサイトを参照してください。 <https://www.hcch.net/index.cfm?oldlang=en>

**注)** アポスティユのタイトル部分は必ずフランス語で「Apostille (Convention de la Haye du 5 octobre 1961)」と記載してください。認証が外国語の場合は英語の翻訳を添付してください。翻訳には翻訳者の資格を証明する書類、経歴書などと併せて「認証の翻訳が真実かつ正確な翻訳である」という翻訳者本人による証明書を添付する必要があります。アポスティユの見本は次のサイトを参照してください。 <http://hcch.e-vision.nl/upload/apostille.pdf>

B. ハーグ条約未締結国：

1) アメリカ合衆国大使館またはアメリカ合衆国領事館には資格を持った公証人が常駐していますので、最寄りの大使館または領事館で認証を受けてください。

または、

2) 地元の公証人に文書を認証してもらった場合は、アメリカ合衆国大使館またはアメリカ合衆国領事館で公証人の署名の認証を受けてください。

**カナダのお客さま：** アメリカ合衆国大使館の所在地については次のサイトを参照してください。

<https://www.usembassy.gov/canada/>

**例外：** 軍関係者は軍法務部の法務官による文書の認証を受けることができます。その場合、テロリズム法に従い、認証を受けた場所の記載と押印は必要としません。階級と所属のみを記載してください。

2. **身分証明書：** 文書の認証を受ける際には、写真と署名のはいった現在有効な身分証明書が必要です。

例) 運転免許証、ステート ID (州発行の身分証明書)、軍人身分証明書、またはパスポート

**注)** アメリカ合衆国以外の国で文書の認証を受ける場合の身分証明書の形態については、それぞれの国の公証人またはアメリカ合衆国大使館/アメリカ合衆国領事館、もしくはその両方に問い合わせてください。

3. **署名：** 文書への署名は、原本および全てのコピーについて、公証人の目の前で行ってください。インクの色は黒か青のどちらかを使用してください。**注)** 会社の代表として署名する場合、署名と併せて社印の押印が義務付けられている場合には、原本および全てのコピーに押印してください。

4. **文書の変更：** 文書は変更することができません。**例外：** 行間記入、削除、抹消については、次の手順に従って行ってください：

A. **ハワイ州での認証の場合：** 変更した箇所に近い余白に公証人が自らの名前のイニシャルを書き記すこと。

B. **ハワイ州以外の場所での認証の場合：** 適用法令に従って、変更した箇所に近い余白に公証人、および/または当事者全員が自らの名前のイニシャルを書き記すこと。

5. **認証の確認：** 公証人による認証を受けた後にもう一度、文書の原本および全てのコピーについて、認証を受けた場所の記載、認証、公証人の押印、公証人権限の有効期限の記載など、必要事項にもれがないことを確認してください。